

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 164

事業名	集会所改修補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	総務部	総務課		款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5001			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	自治振興費・12目
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市集会所等建設事業補助金交付要綱	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり		
	まちづくりの目標		大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】		
	施策目標		地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる		
該当する事業について「 」を選択			施策的事業	業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		集落の公会堂	対象人数(人) 53,374
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		集落等が管理する集会所を補助することで、住民相互の交流と連携や地域づくりの推進を図る。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
	集会所建設等の補助事業を希望する団体は、総務部総務課へ事業内容のわかる事業計画書を提出する。総務課は、受理した事業計画書を受付順整理簿に記載し、その受付の順番により団体に補助金交付申請書を提出してもらい交付決定順に事業を実施する。又、補助基準は次のとおり 1.事業費100万円以上の新築・増築は、補助率(補助対象金額の1/2以内)、限度額1千万円。 2.事業費100万円以上の改修は、補助率(実施事業費の1/3以内)、限度額1千万円。 3.下水道接続に係る工事は、(事業費100万円未満でも補助対象)・補助率(実施事業費の1/3以内)、限度額1千万円。		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
	新築(改築等)については、震災後に復興基金の補助により(緑2・西淡22・三原11・南淡6)41件実施しており、今後は改修(修繕等)が主であり、特に下水道の加入促進上、その経費についての支援を対象としている。 補助金の交付を受けた団体は、地域コミュニティ活動を広く推進し、当該集会所を実践の場として有効利用を図る。		
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (単位自治会)	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併協議会での事務調整なし。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	年間補助事業実施件数			指標単位 件数
	指標説明 (指標算出方法等)	事業実施件数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	9	7	19	15
	実績値	7	19	15	
	達成度 (%)	77.8	271.4	78.9	-
目標値設定の考え方	前年度の実施件数				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	補助事業要望団体数			指標単位 件数
	指標説明 (指標算出方法等)	年間の補助事業要望団体数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	7	7	19	15
	実績値	7	19	15	
	達成度 (%)	100.0	271.4	78.9	-
目標値設定の考え方	年間の補助事業要望全団体数				
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	2,485	14,498	11,000	8,000
	集会所改修等補助金	2,485	14,498	11,000	8,000
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	2,485	14,498	11,000	8,000
	人件費(正規職員)[B] (千円)	215	568	572	572
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	7	19	19	19
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
年間経費([A]+[B])	2,700	15,066	11,572	8,572	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.1	0.3	0.2	0.2	
受益者人数(5,200)1人当り経費(千円)	0.5	2.9	2.2	1.6	
経費に関する補足説明					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	77.8	271.4	78.9	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 19年度は、要望のあった全団体が要望どおり事業を実施しているため、自己評価を4とする。							4
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
	成果向上率	%	-	171.4	21.1	-	
	(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 19年度以降は、下水道の供用開始地域が増えるため、事業実施要望件数も増える。						
							5
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	385.7	793.0	771.5	-	
	効率性増減率	%	-	105.6	2.7	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 事業実施要望件数が増えていく傾向なので、経費節減は大変困難であると思われる。							4
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 下水道の加入推進上、まず公会堂から下水道の接続工事を実施していく必要がある。						
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	住民相互の交流と連帯を図り、高齢者、障害者等が安心して暮らせる地域づくりを推進するための拠点施設の整備事業は、今後もさらに重要である。						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	平成17年4月に集会所の補助金交付要綱を定めたばかりなので、ある一定期間は、この制度を続ける必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 仮に事業を中止、もしくは統廃合したとなれば、改築等が必要でも集落だけの財源では事業実施が困難であり、コミュニティ活動の低下に繋がる恐れがある。	